

未来を 作る力

—— 地域とつくる、私たちの未来。——



自分を信じて、
仲間とともに、
新しい一歩を踏み出そう！



愛媛県立八幡浜高等学校

総合学科

福祉サービス系列

グローバル農産系列

総合学科

福祉サービス系列

令和10年までに川之石高校・八幡浜高校が段階的に統合され（新）八幡浜高校は、愛媛県唯一の福祉系高校になります。

（令和8年度入学生～）

本校で福祉サービス系列を選択し、単位取得を行うと、在学中に介護福祉士の国家試験受験資格を取得することができます。



在学中に取得できる資格



- ・介護福祉士国家試験受験資格
- ・介護職員初任者研修修了



卒業後の進路

（令和7年度川之石高校福祉サービス系列卒業生）

進学先

- ・聖カタリナ大学
- ・広島文教大学
- ・河原医療福祉専門学校など

就職先

- ・特別養護老人ホーム ことぶき荘
- ・介護老人保健施設 青葉荘
- ・特別養護老人ホーム つわぶき荘
- ・老人保健施設 れんげ荘など

学びが、誰かの笑顔につながる
確かな知識と技術を身に付け、
地域に貢献できる介護のプロを目指します。



人に寄り添う心



専門的な知識・技術



地域とのつながり



広がる未来

社会人講師の活用

介護福祉士や現場の専門職の先生方による講義や実習を通して、実践的な学びを深めます。



介護実習

地域の福祉施設などで、段階的に実習を行います。利用者理解を深め、専門的な知識・技術を実践的に学びます。



進路・合格状況

進路状況

年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
就職	福祉関係	3名	10名	5名	7名	6名
	一般	1名	0名	0名	1名	0名
	就職合計	4名	10名	5名	8名	6名
進学	医療福祉	1名	3名	4名	2名	8名
	他産業	1名	2名	3名	1名	0名
	進学合計	2名	5名	7名	3名	8名

介護福祉士 国家試験合格状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
受験者	5名	15名	12名	11名	14名
合格者数	5名	15名	11名	11名	14名
合格率	100%	100%	91.7%	100%	100%

高い合格率を維持！

確かな指導とサポート体制で、夢の実現を後押しします。



実践力を高める学びの環境

- ✓ 充実した実習設備と学習環境
- ✓ 地域や施設との連携による体験的な学び
- ✓ チームワーク・コミュニケーション力の育成
- ✓ 将来の進路に合わせたきめ細やかな指導



福祉の仕事はやさしさだけじゃない
専門性と誇りを持てる仕事
福祉サービス系列で、あなたの未来を切り拓こう。

医療的ケア

介護保険法等の一部改正により、平成27年度以降は介護福祉士がその業務として「喀痰吸引等」を行うことが可能になりました。そのため、養成課程において、医療的ケアに関する教育を行うことが必要になりました。

● 基本研修〈講義形式・実時間で50時間以上〉

- 演習
- 喀痰吸引：口腔（5回以上）・鼻腔（5回以上）・気管カニューレ内部（5回以上）
- 経管栄養：胃ろう又は腸ろう（5回以上）・経鼻経管栄養（5回以上）
※併せて、救急蘇生法演習についても1回以上実施。



専門的な知識と技術を身に付け、安心・安全な支援ができる力を育てます。

ICTや福祉機器を活用した体験的な学び

ICTや福祉機器を活用し、多様化する福祉ニーズに応える福祉サービスを学びます。

福祉機器の見学

地元企業、福祉サービス事業所による最新福祉機器の展示会へ参加し、実際に機器に触れながら、介護現場で活用されている福祉機器について学びます。

体験会への参加

体験を通して、利用者の安全や介護者の負担軽減につながる工夫を理解し、福祉に関する知識や関心を深めます。



高齢者サロンとの交流

地域の高齢者サロンでの交流を通して、高齢者への理解を深めるとともに、コミュニケーション能力や実践的な福祉の視点を養います。レクリエーションや会話を通して世代を超えたつながりを築き、地域福祉の担い手としての意識や思いやりの心を育みます。



交流を通じて、相手を思いやる心と、支える喜びを実感します。

地域ボランティア活動・イベントへの参加

地域で行われるボランティア活動や各種イベントに積極的に参加し、人とのつながりや支え合いの大切さを学びます。地域住民との交流を通して、多様な立場の人々への理解を深めるとともに、社会に貢献する意識や主体的に行動する力を育みます。

地域の方とつながり、社会に貢献する喜びを学びます。



誰かの笑顔のためにできることが、きっとみつかる
学びの先にある、人に寄り添う未来へ。

介護技術コンテスト



高校生介護技術コンテストは、福祉を学ぶ高校生が利用者の方にとってよりよい介護を検討し、競技（実演）、説明（アピール）をします。本系列では「利用者も介護者も笑顔になれる介護」をテーマに掲げ、学年を超えて協力しながら、知識・技術と人間性の両面を磨いています。利用者の尊厳を尊重した「笑顔になれる介護」を追求するとともに、その根拠を論理的に伝える力も養います。日頃の学びを実践の場で体現し笑顔の輪を広げていく、本系列を代表する活気あふれる取り組みです。



チームで考え
最高の介護を
追求する経験が
自信と成長に
つながります。

生徒体験発表

生徒体験発表は、全国福祉高等学校長会に加盟する高校で福祉を学ぶ生徒が、福祉に関する学習や、自らが体験したことを通じて、感じたこと、考えたこと、それまでと変化したことなどを発表することにより、発表者はもちろんのこと、他の福祉を学ぶ生徒そして指導者の学びの場とする取り組みです。本系列でも毎年作品を応募しており、全国大会での発表を目標に取り組んでいます。



自分の経験や想いを
言葉にして伝えることは、
大きな学びと
自信につながります。



手話コーラス

本系列では、文化祭（川高祭）のステージ発表として、毎年手話コーラスに取り組んでいます。（写真は川高祭の様子）社会人講師として、手話通訳士の先生に御指導いただき、手話の意味や表現方法を学びながら練習を重ねています。歌詞に込められた思いを手話で表現することで、相手に伝えることの大切さや福祉の心を学んでいます。当日は、生徒一人一人が心を込めて発表を行います。



手話を通して、
表現する楽しさや
人とのつながりの
大切さを学びます。



人に寄り添う心



専門的な知識・技術



地域とのつながり



支える未来へ

総合学科

グローバル農産系列



柑橘の栽培・管理



野菜の栽培・管理



加工・食品製造

グローバル農産系列の紹介



柑橘後継者の育成



日本農業遺産認定継続、世界農業遺産認定に向けて、ドローンでの農薬散布など、新しい技術を積極的に取り入れ、柑橘後継者の育成を行っています。



加工品の製造



ジャム類製造の営業許可を取得しており、柑橘マーマレードやイチゴジャムなどの加工品を製造しています。

グローバル農産系列で身に付く力



専門的な
知識・技術



地域との
つながり



課題解決力
・企画力



持続可能な
社会を実現
する力

世界へ届ける、未来を育てる柑橘農業

未来の農業を切り開く

グローバル
農産系列の 挑戦

GLOBAL G.A.P.への挑戦

世界基準の農業生産工程管理

GLOBAL G.A.P.の認証取得を目指し、安全・安心で持続可能な農業を実践する力を育てています。



G A P 学習会



講師をお呼びしてG A P学習会を行い、グローバルG A Pについて深く学習をしています。資料作成の仕方、園地の管理の仕方を詳しく学びます。グローバルG A P審査会では、農業と認証制度で学習したG A Pの知識と日々の農場管理を審査員に説明しています。毎年更新し、今年度で9回目の更新になります。



園地の補修・講習会



園地は、常に綺麗な状態にして、園地の補修・コンクリート階段づくりも行っています。

講習会は、毎年、松山市へ行き、J A中島の職員の方や忽那さん、清水さんから土壌、害虫、害獣、剪定、農薬、肥料に関する知識を学んでいます。こうした経験を通してグローバルG A P審査会に臨むことで審査にも余裕をもって答えられるように学習しています。



世界農業遺産への挑戦

柑橘後継者の育成



日本農業遺産認定継続世界農業遺産認定に向けて、新しい技術を積極的に取り入れ柑橘後継者の育成を行っています。また、日本農業遺産を知っていただくため、セミナーでの発表を行いました。

柑橘類の販売



ジュースを含む商品のブランド力を高めるため、ラベルを刷新しました。商品は、東京のホテル、空港などで販売しています。世界マーマレード大会プロの部で受賞歴のあるマーマレードと並べて販売しました。

日本一の柑橘産地を未来へつなぐ





6次産業化への挑戦

八幡浜高校で栽培された柑橘類を自分たちで加工、販売

生産から加工、販売まで生徒が主体となり、取り組むことで、地域に貢献し、
未来につながる農業の価値を創造しています。



ジャム類の製造
営業許可取得
JANコード設定
世界マーマレード
大会プロの部
(銀賞・銅賞受賞)



生産



加工（製造）



流通（販売）



育てる・創る・届ける



地域の資源を活かす



学びを地域に還元する



未来の農業を創る

6次産業化と先端技術、地域連携で学ぶ次世代柑橘農業



スマート農業への挑戦



肥料の開発

牡蠣殻



ぼかし肥料



牡蠣殻は、炭酸カルシウムを多く含み、土壌改良や果実の品質を安定させる効果があります。牡蠣殻は地域で廃棄されるものを使用しました。



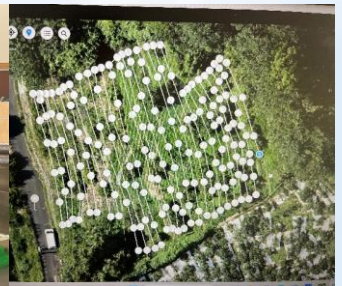
ぼかし肥料の研究を進め、微生物の働きや酵素とアミノ酸により果皮及びじょうのう膜が薄くなり、食べやすさが大きく向上しました。ぼかし肥料は、えひめA1（環境浄化微生物資材）と米ぬかを配合し作製しました。



牡蠣殻とぼかし肥料を混ぜ、自家製肥料を作製。そして、肥料をドローン散布に適合させるため、ペレット化に取り組みました。



ドローンの自動化



ミヤモトオレンジガーデン（株）宮本様のご協力のもと、農業用ドローンの自動化に取り組み農薬散布の効率化に挑戦しました。その結果、手散布と比べ作業時間を87%削減し、クーラー防除と比べ農薬代を3分の1に抑えることに成功しました。



牡蠣殻とぼかし肥料をドローンで散布するため、ふるいにかけてペレット化。牡蠣殻とぼかし肥料を3：7の割合で混合し、1本の樹あたり100g散布できるよう、ドローンの最適な散布速度と高度を検討し実践しました。こうした技術を普及させるためドローン講習会を開催し、ドローンの有用性を地域に紹介しました。



ドローンとデータで実現する次世代の柑橘栽培
ドローンとデジタル技術を活用した「樹1本ごとに最適な施肥」に取り組んでいます。マルチスペクトルカメラで園地を撮影し、NDVIを用いて樹ごとの生育状況を可視化。そのデータをもとに施肥量を調整し、ドローンで通常肥料や自家製肥料を散布しています。これにより、必要な樹に必要な量だけ肥料を与える精密施肥が可能となり、肥料の無駄を減らしながら高品質な柑橘生産を目指しています。最先端技術と農業を組み合わせ実践的な学びを通して、持続可能な地域農業の実現に挑戦しています。





農福連携

～共に支え合い 共に育つ～

農福連携とは、「障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み」です。

農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。



教科横断型学習



本校では、総合学科という強みを生かし、福祉サービス系列の先生に福祉とは何かや、農業における癒しや健康づくり、障がい者雇用の創出などといった福祉的側面を教えてもらい、教科横断型学習に取り組んでいます。



農福連携が目指す社会や障がいのある人への接し方について学びます。



農福連携の実践



「身体に障がいのある人が農業をするためには？」をテーマに“どうすればできるか”という視点を大切にして実習を行っています。



さらに、福祉施設の利用者さんと野菜を栽培したり、収穫物を使ってピザを作ったりしました。このような体験から、農福連携について理解を深めることができました。



地域との交流

～ つながることで、広がる学び～



小学校との交流



サツマイモの定植から収穫まで、小学1・2年生と農業交流会を実施しています。



川之石小学校との交流は、トウモロコシ栽培、トマト栽培など高校生が指導者として活動し、25年以上継続して行っています。



みかんPR活動



J Aにしうわ、J R四国と連携し、伊予灘ものがたりのお客様に、みかんのPR活動を行っています。



にしうわ同志会の方々と伊予柑タワーを作り、1月14日は、いい予感の日のPR活動を行っています。
(道後温泉商店街)

地域とつながり、農福連携で支え合いながら未来へ広がる学びと挑戦



フラワーデザイン学習

花を学び、感性を磨き、未来を創る。

コンテストへの挑戦！

フラワーデザイン競技県大会参加



各種コンテストへの挑戦



「草花」「生物活用」「総合実習」などの教科でフラワーデザインを学び、外部講師の指導を受けながら、本格的な作品制作や実践的な活動に取り組むことができます。



学びのポイント



実践的な学び
基礎から応用まで、授業と実習で
確かな技術と知識を習得します。



地域とつながる学び
外部講師や地域企業と連携し、
現場で生きる力を身に付けます。



挑戦する力を育てる
各種コンテストへの参加を通じて、
自信と成長を育みます。

コンテストの実績



・えひめ地域づくりアワードユース
(地域連携賞)

・えひめ笑顔セレクションみかんジュースコンクール応募



・クボタ毎日地球未来賞
(入選)

・愛媛の魅力再発見・PR動画コンテスト
(愛媛県教育長賞)

・全国農業高校農業大学校デジタルコンテスト
スマート農業部門
(農林水産技術議会会長賞)



コンテストに参加して

各種コンテストや様々な場で研究成果を発表することで、本校の取り組みを県内外の多くの人々に周知することができ、地域農業の活性化や次世代の担い手育成につながりました。



花とともに、未来を咲かせる。

フラワーデザインの学びは、技術の習得だけでなく、心を育て、人と地域をつなぐ力になります。一人ひとりの「好き」や「得意」を大切に未来に向けて一緒に歩んでいきましょう。





愛媛県立八幡浜高等学校
総合学科